



島根県の経済情勢

令和 6 年 2 月 1 日

財務省中国財務局
松江財務事務所

本調査についてのお問い合わせ先
財務省中国財務局
松江財務事務所 財務課長 幸村
電話 (0852) 21-5231 (内線 4630)



ざいちゅう

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに持ち直している」

項目	前回（5年10月判断）	今回（6年1月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→

（注）6年1月判断は、前回5年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、持ち直している。生産活動は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回（5年10月判断）	今回（6年1月判断）	前回比較
----	-------------	------------	------

個人消費	持ち直している	持ち直している	→
生産活動	弱含んでいる	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	↗
雇用情勢	持ち直している	持ち直している	→

設備投資	5年度は前年度を上回る見込み	5年度は前年度を上回る見込み	→
企業収益	5年度は減益見込み	5年度は減益見込み	→
企業の景況感	「上昇」超幅が縮小している	「上昇」超幅が拡大している	→
住宅建設	前年を下回る	前年を下回る	→
公共事業	前年度を下回る	前年度を下回る	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「持ち直している」

ドラッグストア販売は、メイクアップ商品などが好調であり、前年を上回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、納期が改善に向かっており前年を上回っている。一方、コンビニエンスストア販売及び百貨店・スーパー販売は、物価上昇や値上げの影響により、客数、買上点数が減少していることなどから、前年を下回っている。家電大型専門店販売は、エアコンなどが低調であり、前年を下回っている。

また、主要観光施設及び主要温泉地の入込客数をみると、秋の行楽シーズンを迎えたことに加え、全国旅行支援の再実施も追い風となって、緩やかに回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 外出機会の増加により、メイクアップ商品が非常に伸びていることから、今後、販売コーナーの拡大を計画している。また、インフルエンザの流行に伴い、市販の医薬品も引き続き好調である。(ドラッグストア)
- メーカーにおける生産が安定したことで納期はかなり改善し、受注後、順次納車されている。(自動車販売)
- 人流回復による客数の増加が落ち着き、値上げによる客単価の押し上げも一服した。物価上昇が続く中、客数は前年並みで持ちこたえているが、買上点数の減少による客単価の前年割れが発生し始めている。(コンビニエンスストア)
- 値上げにより客単価が上昇している反面、来店客数が減少している。値段が上がっている野菜については、買上点数を減らしたり、手の届く価格帯の商品で済ませたりする動きがみられる。(百貨店・スーパー)
- 暖冬の影響により、足下でエアコンが売れていない。また、冷蔵庫や洗濯機は販売価格の上昇による影響が大きく、低調な売行きとなっている。(家電大型専門店)
- 秋の行楽需要を取り込み、利用は堅調であった。また、12月についても、全国旅行支援の再実施を受けて団体ツアーが多く組まれたことで、非常に好調であった。(宿泊)
- 年末に向けて団体客による宴会の予約が好調であり、曜日によっては満席となっている店舗もあるなど、当初計画をはるかに上回る売上となっている。(飲食)

■ 生産活動 「一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある」

鉄鋼・非鉄金属は、海外景気の減速による影響などから減少している。一方、電子部品・デバイスは、自動車向けが堅調であることから増加している。汎用・生産用・業務用機械は、食料品向けの需要に持ち直しに向けた動きがみられることなどから増加している。輸送機械は、供給制約の緩和により増加している。木材・木製品は、高水準で横ばいの状況にある。

- 完成車メーカーの生産回復により、国内向けは自動車関連部品の受注が緩やかに伸長しているものの、中国の景気回復減速による影響などから、海外向けは需要の回復がみられず、輸出が伸び悩んでいる。(鉄鋼・非鉄金属)
- スマホ向けについては、概ね在庫調整が落ち着いたものの、実需の回復がみられていない一方で、自動車向けについては、半導体不足の緩和により堅調に推移している。(電子部品・デバイス)
- コロナ禍からの回復やインバウンドの増加による食料品などの消費財に対する需要の高まりから、設備投資の動きがみられ始めている。(汎用・生産用・業務用機械)
- 半導体など部材の供給制約による影響はほとんど感じられなくなり、自動車向けは概ね計画どおりの生産量となったほか、中国や韓国からの大型コンテナ船向けの需要も堅調である。(輸送機械)
- 年間計画に基づき調達を行うハウスメーカーからの安定的な受注があることから、高い生産水準が継続している。(木材・木製品)

■ 雇用情勢 「持ち直している」

新規求人数は減少しているものの、依然として有効求人倍率（5年9-11月）が全国平均を上回っており、人手不足の傾向が続いている。

- パート、アルバイトを募集しているが全く応募がなく、危機的な人員水準となりつつある。店舗によっては、人手不足を理由として閉店せざるを得ない状況が、数年先にも発生するおそれがある。(小売)
- 慢性的な人手不足が続いており、特に山間部所在の工場では顕著である。人員確保には賃上げが最重要と認識しているものの、業況からすると来春のペアは難しく、定期昇給のみとなる見込み。(窯業・土石)
- 飲食業では、新型コロナの5類移行により客数が増加しているものとみられるが、新規求人が減少している。コストアップによる経営圧迫のほか、民間求人サイトの普及も背景にあると考えられる。(職業紹介)

■ 設備投資 「5年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年10-12月期

- 製造業は、化学工業などで減少するものの、情報通信機械や鉄鋼などで増加することから、全体では増加見込みとなっている。
- 非製造業は、情報通信などで増加するものの、小売や金融、保険などで減少することから、全体では減少見込みとなっている。

- 自動車の電装化などにより、長期的に電子部品需要が継続すると考えていることから、生産能力の増強投資を進めており、この度、新生産棟を建てた。(情報通信機械)
- 新規出店に伴う建設工事を前年度から実施しており、今年度はその反動から投資額が減少する見込みである。(ホームセンター)

■ 企業収益 「5年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年10-12月期

- 製造業は、化学工業などで増益となるものの、鉄鋼や生産用機械などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業は、サービスなどで増益となるものの、建設や小売などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『上昇』超幅が拡大している」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年10-12月期

- 企業の景況判断BSIは、「上昇」超幅が拡大している。なお、先行きは、翌期に「下降」超に転じ、翌々期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回る」

- 新設住宅着工戸数でみると、前年を下回っている。利用関係別にみると、持家や分譲住宅で前年を下回っている。

■ 公共事業 「前年度を下回る」

- 前払金保証請負金額(年度累計)でみると、前年度を下回っている。発注者別にみると、市町村や県が前年度を下回っている。

島根県の経済情勢

資料編

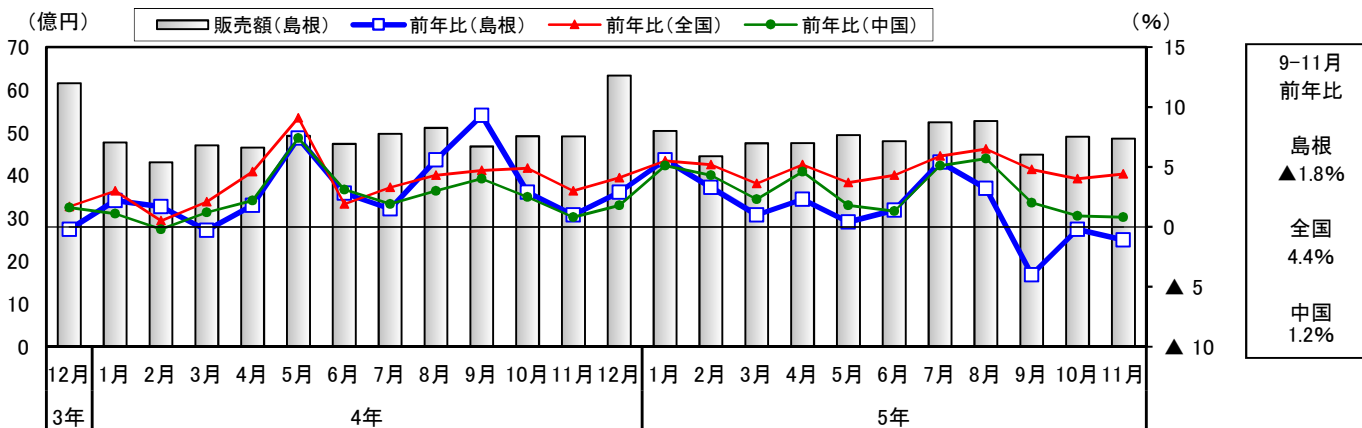
目次	ページ
1. 個人消費	1
2. 生産活動	3
3. 雇用情勢	4
4. 設備投資	5
5. 企業収益	5
6. 企業の景況感	6
7. 住宅建設	6
8. 公共事業	6

※ 本資料のグラフは各機関の公表数値を基に作成している。なお、公表されていない一部項目の数値については、当所で算出している。

本調査についてのお問い合わせ先
財務省中国財務局
松江財務事務所 財務課長 幸村
電話 (0852)21-5231(内線 4630)

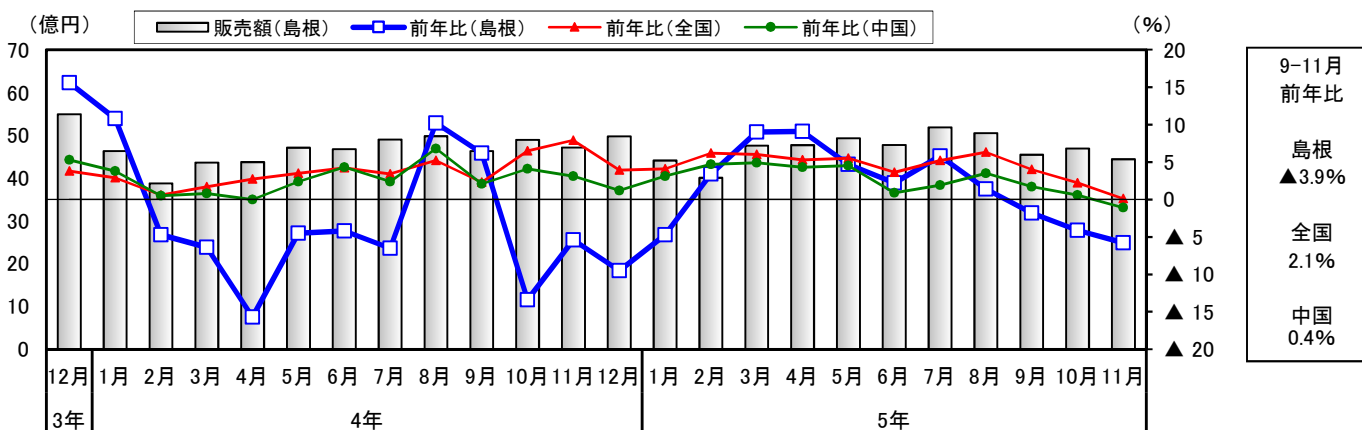
1. 個人消費 持ち直している

(1) 百貨店・スーパー販売額(全店舗)



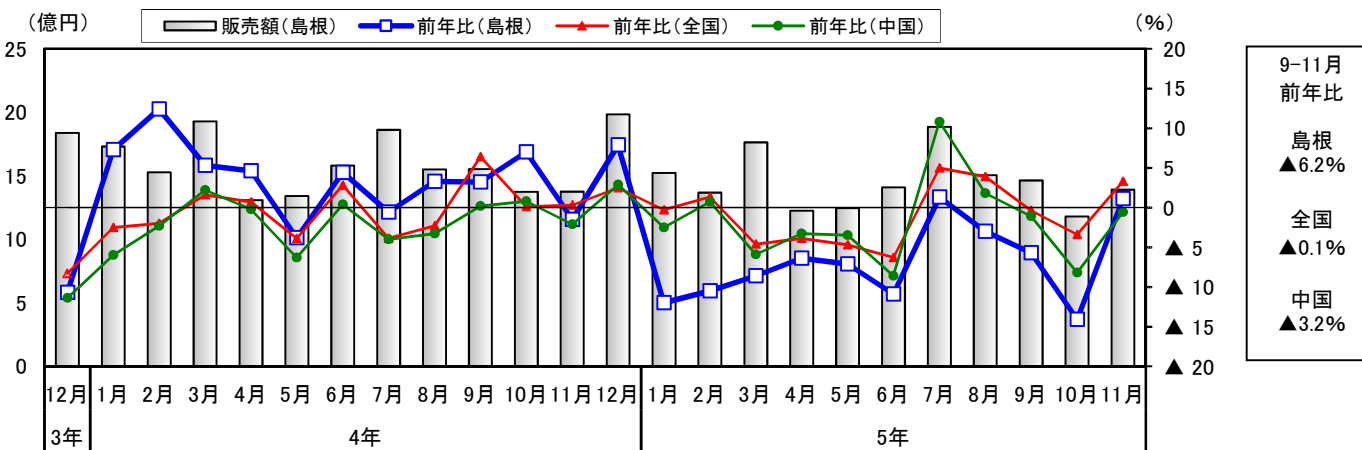
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(2) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



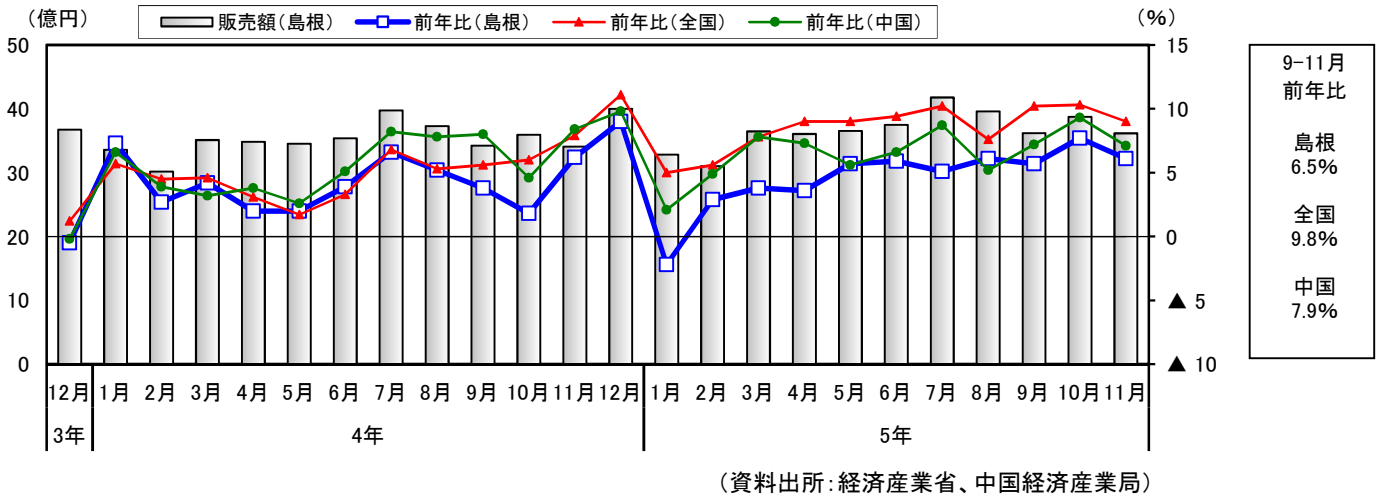
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(3) 家電大型専門店販売額(全店舗)

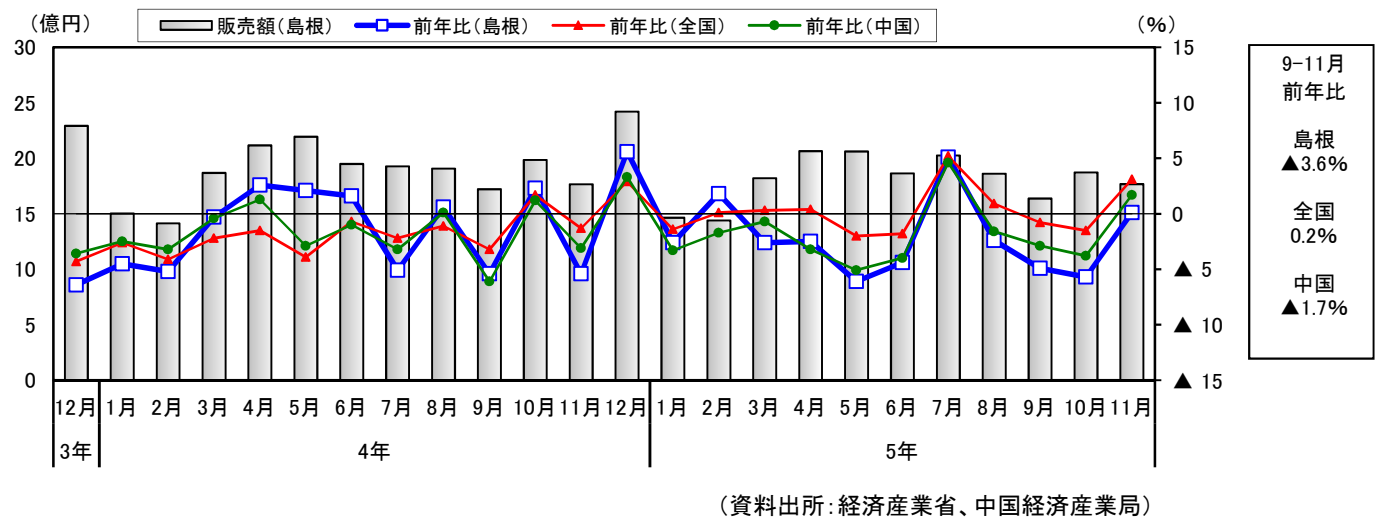


(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

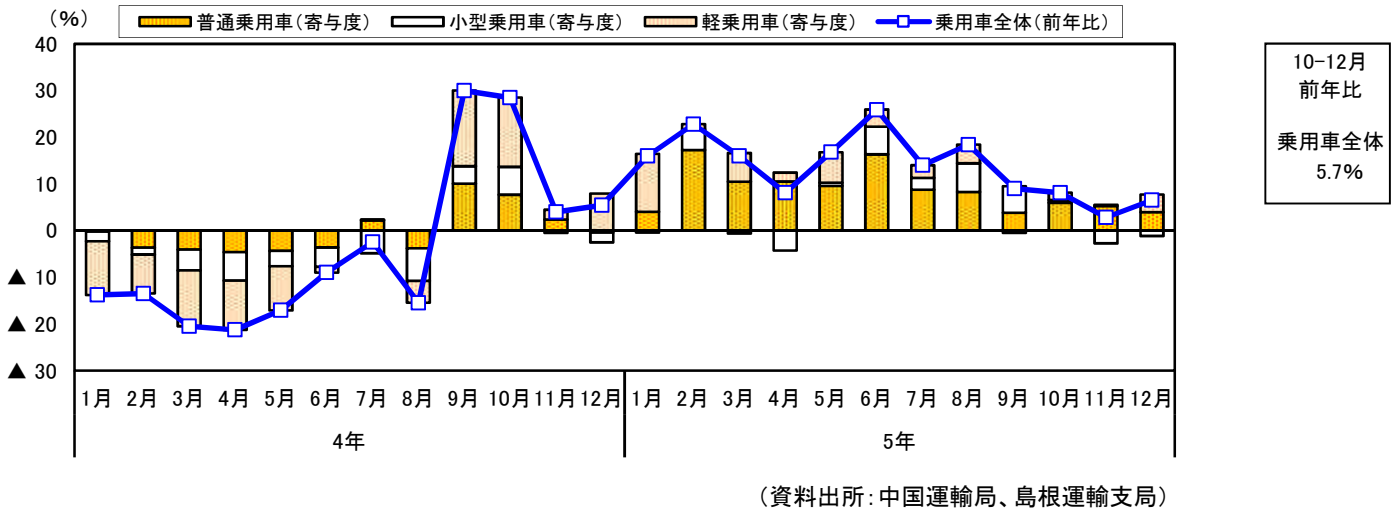
(4)ドラッグストア販売額(全店舗)



(5)ホームセンター販売額(全店舗)



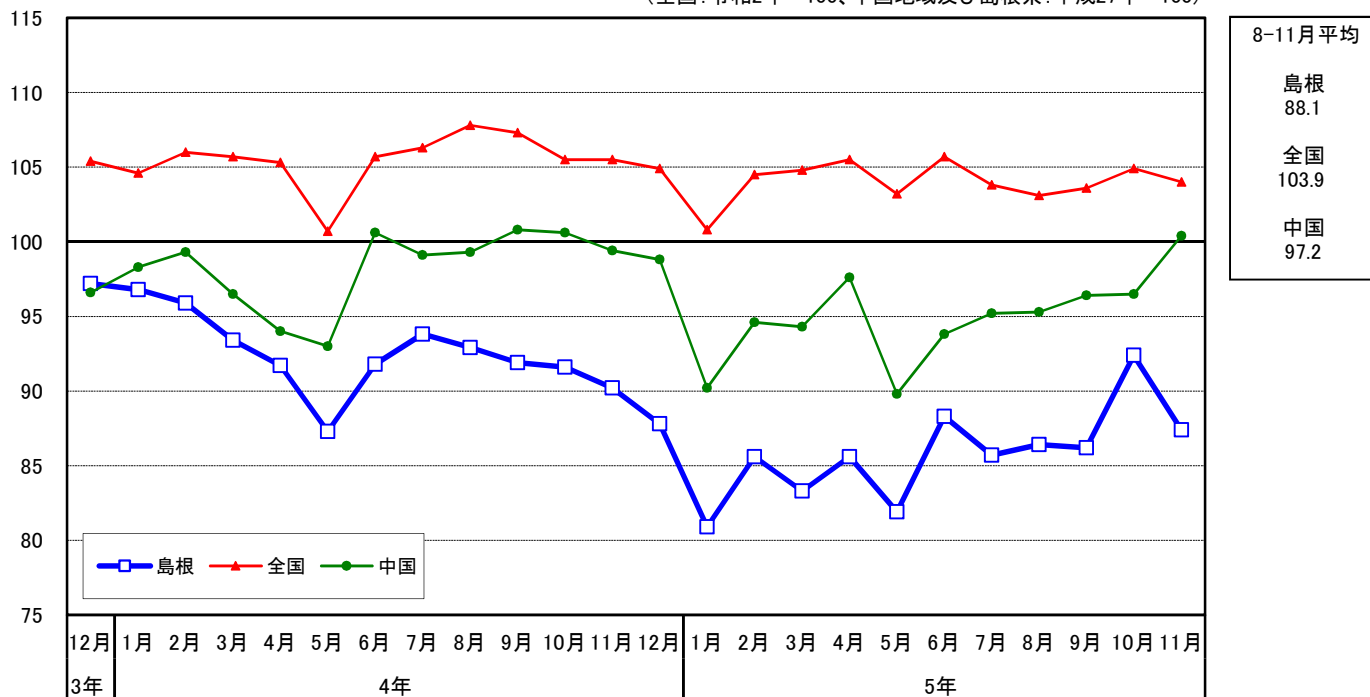
(6)乗用車販売(新車登録・届出台数)



2. 生産活動 一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)

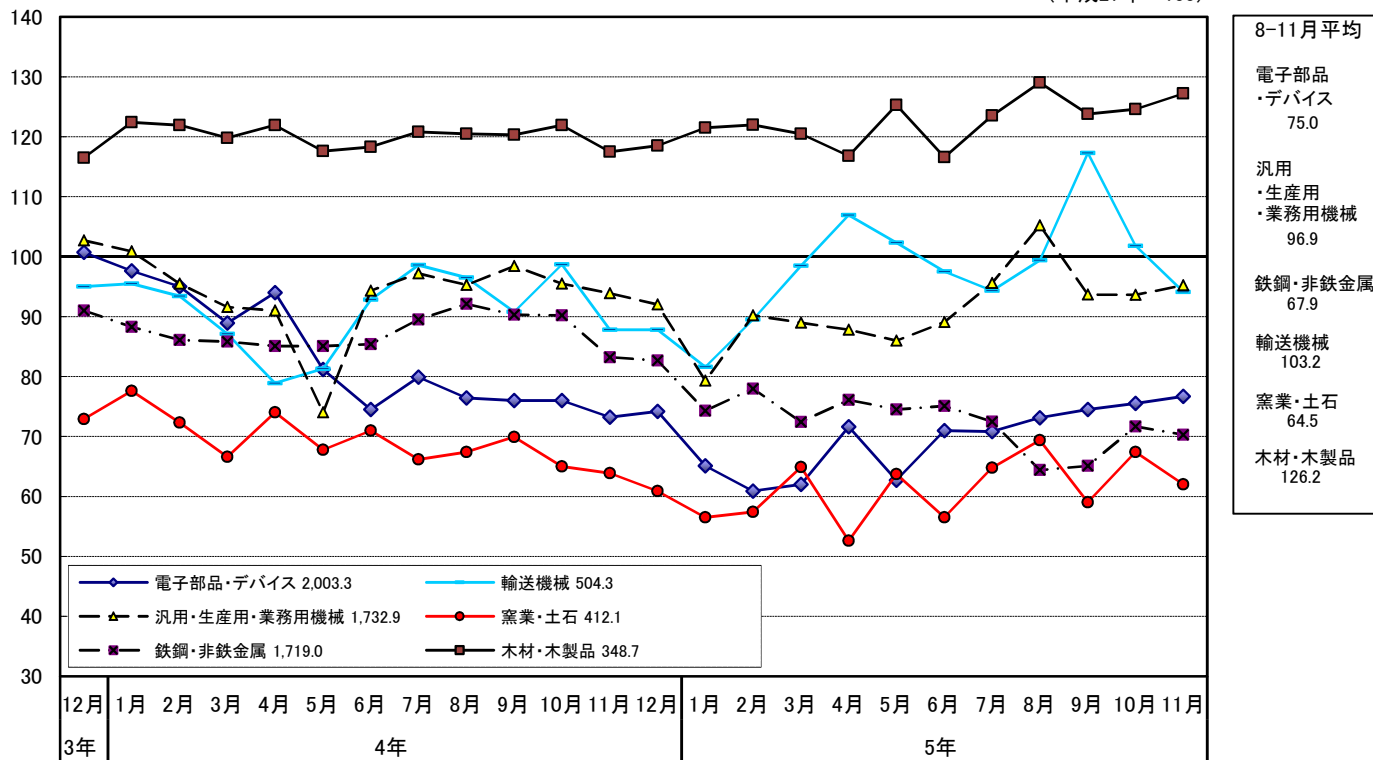
(全国:令和2年=100、中国地域及び島根県:平成27年=100)



(資料出所:経済産業省、中国経済産業局、島根県統計調査課)

(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

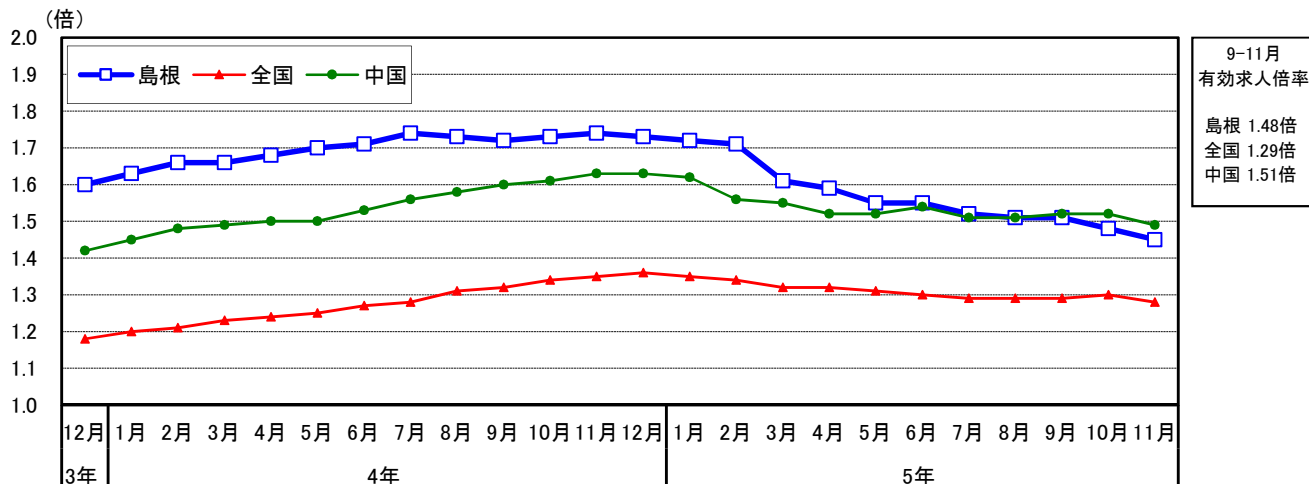
(平成27年=100)



(資料出所:島根県統計調査課)

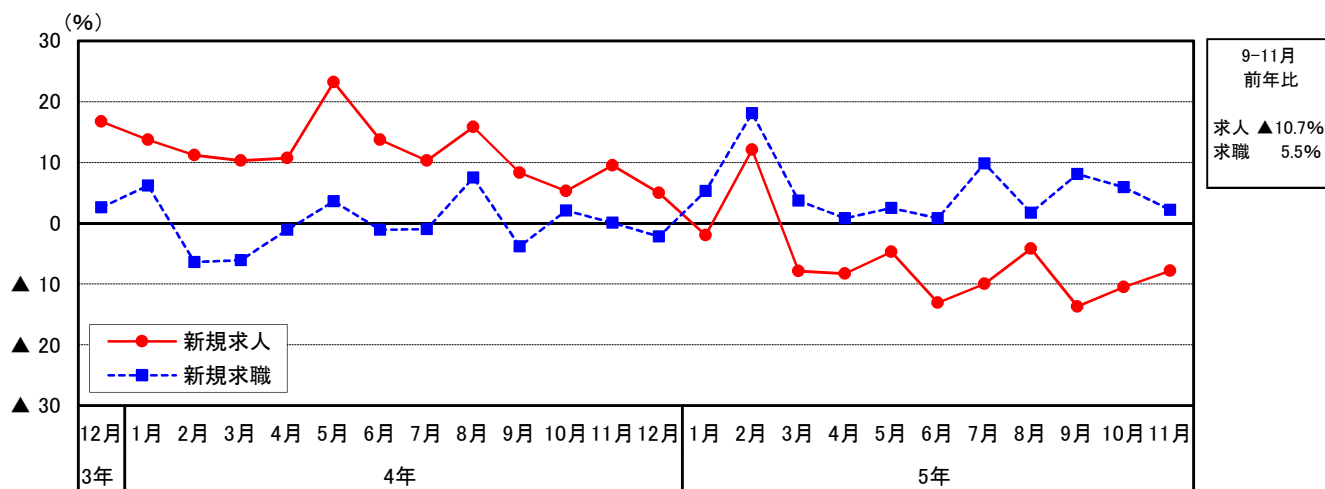
3. 雇用情勢 持ち直している

(1) 有効求人倍率(学卒を除く、季節調整値)



(資料出所:厚生労働省、島根労働局)

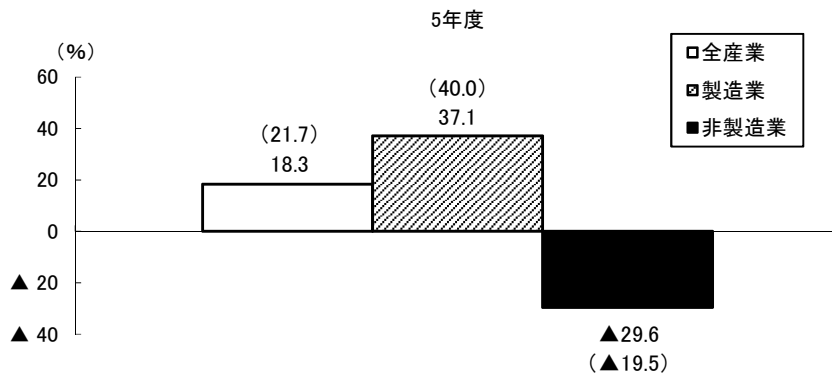
(2) 県内新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



(資料出所:島根労働局)

4. 設備投資 5年度は前年度を上回る見込み

設備投資の前年度比増減率

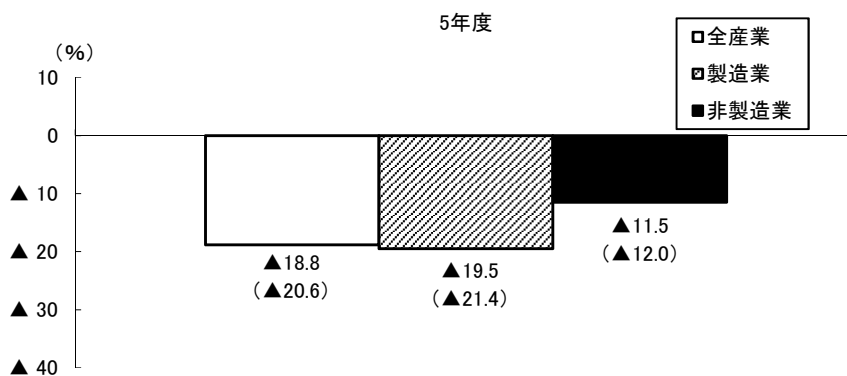


- (注) 1. 法人企業景気予測調査(5年10-12月期)結果
 2. 土地購入額を除き、ソフトウェア投資額を含む。
 3. ()書きは前回(5年7-9月期)調査結果

(資料出所: 松江財務事務所)

5. 企業収益 5年度は減益見込み

経常利益の前年度比増減率

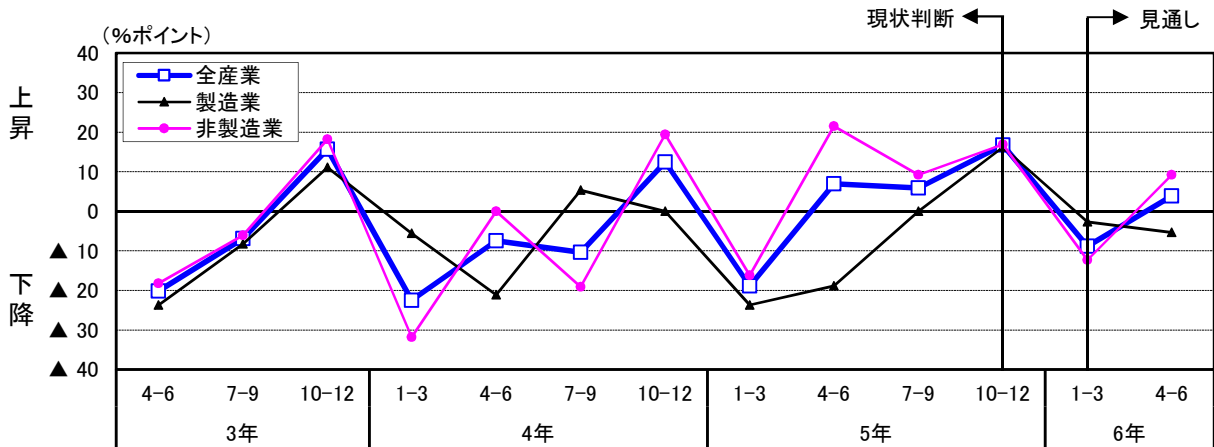


- (注) 1. 法人企業景気予測調査(5年10-12月期)結果
 2. 電気・ガス・水道業及び金融業、保険業を除く。
 3. ()書きは前回(5年7-9月期)調査結果

(資料出所: 松江財務事務所)

6. 企業の景況感 「上昇」超幅が拡大している

景況判断BSIの推移(原数値)(BSI:前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)

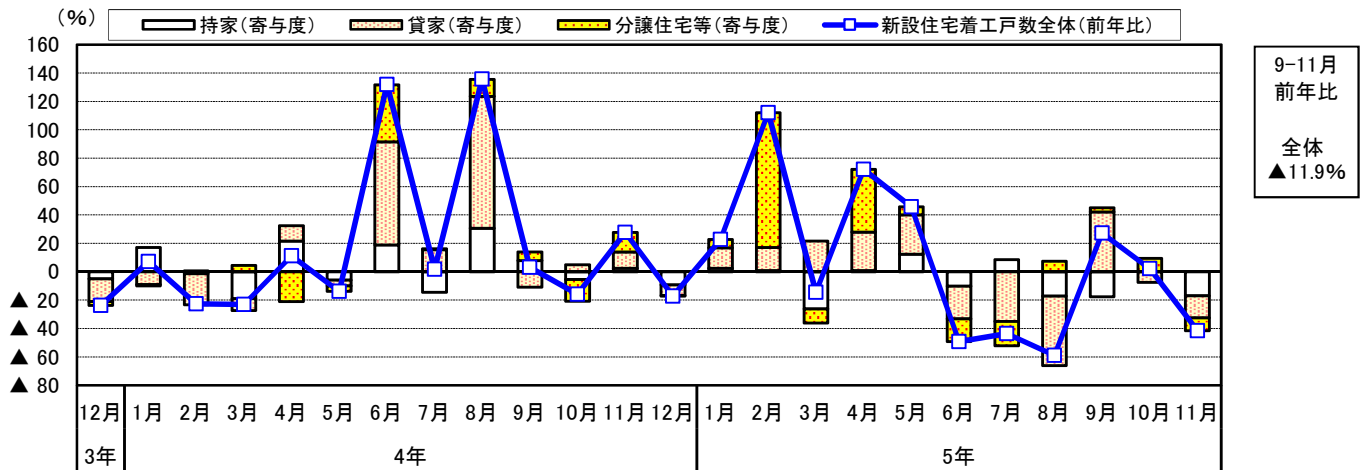


(注)法人企業景気予測調査(5年10-12月期)結果

(資料出所: 松江財務事務所)

7. 住宅建設 前年を下回る

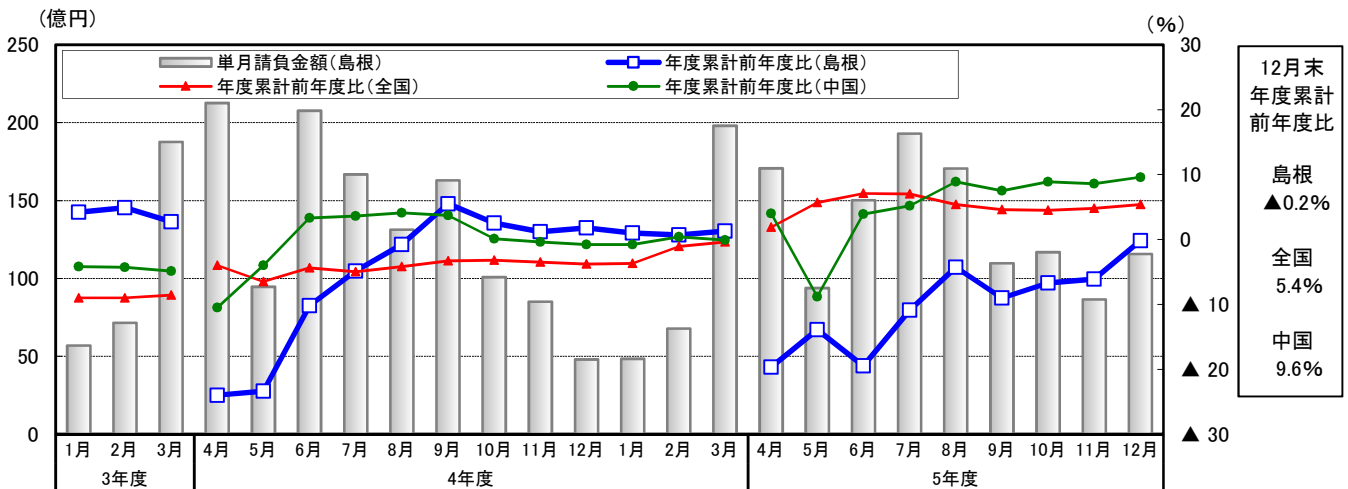
新設住宅着工戸数(前年比)



(資料出所: 国土交通省)

8. 公共事業 前年度を下回る

公共工事前払金保証請負金額(年度累計前年度比)



(資料出所: 各建設業保証(株))